

報告案件 第4次読書のまち八王子推進計画に基づく令和2～4年度図書館部事業実施計画について

	ご意見など	回答
1	<p>ブックパック・電子書籍・オーディオブックの三本柱をたてて、本の魅力を楽しめるコンテンツの提供はたいへん評価できる。これはWithコロナにかかわらず、これからの時代を見据えた施策だと思われる。問題点は、アンケートに散見されるようにこれらのサービスが提供されている事の周知並びに利用状況の改善ではないだろうか。この点のアプローチの対策が急務だと思われる。</p>	<p>ご意見いただきましたように、周知の方法につきより一層の検討・工夫を重ね計画を実施してまいります。</p>
2	<p>昨年に突如降ってわいたコロナ禍により、来館者に本を貸し出すという、最も一般的な図書館業務が遂行できず、来館者はもちろん、本の貸出数も激減する中で、それでもできるアイデアはないかと模索し、“ぶっくぱっく”の設置、電子書籍の拡充、図書消毒機の導入などの新たな施策に果敢に取り組まれている現状がよく分かりました。ステイホームを余儀なくされた方たちの読書時間が増えている現状がアンケートから見えてきます。それなのになかなか貸出できないジレンマは悔しいものがありますね。一方で、それだけのニーズが市中に充満しているとも捉えられますから、これは「読書のまち八王子」の推進に於いて、却ってチャンスなのだと前向きにとらえたいですね。さて、以下、概要版の「4重点施策」を見ながら管見を申し述べます。</p> <p>①乳幼児の読書活動支援：「出張おはなし会」と併せて、例えば、紙芝居や絵本の朗読方法を伝授する動画、また、読み聞かせにぴったりの絵本の紹介動画などを配信してはどうかと思いました。保育園や幼稚園の先生たち、親御さん向けの読み聞かせオンライン講座を開催し、お困りごとを語り合いながらお互いに解決していく双方向の取り組みなどもありかなとも考えます。</p> <p>②学校連携：「読書感想文・感想画コンクール」の終了は痛いですね。その代替としての「小中学生POPコンテスト」なのでしょうが、コンクールから比べると、やや小ぶり感は否めません。感想動画を作らせてみたり、ツイッター投稿を考慮した140文字での紹介文コンテストなど、その後の展開が期待できる取り組みを考えてみては如何でしょうか。</p> <p>③図書館おすすめの“ぶっくぱっく”：これは大ヒット企画だと思います。アンケートにも「普段選ばない本と出会えてすごくよかった」とあり、紙の本が持つポテンシャル、すなわち“偶然の出会い”を最大限に引き出せる素晴らしい企画です。福袋的なワクワク感もあるし、これからもぜひ続けてください。</p> <p>④環境に配慮した読書環境の整備（SDGs）：SDGsに関しては市内のいろんな団体が様々に活動されています。それらと紐づけるかたちで、例えば環境保全団体が何かしらのイベントを催す際には、環境に関連する図書目録を作成して参加者に配布したり、貧困家庭の読書率がどうしても低いので、「子ども食堂」と連携して、その場で絵本や児童書の貸し出しを可能にするなど、様々な方策が考えられると思います。</p> <p>⑤新たな読書空間“パークライブラリー”：これも優れたアイデアですね。開けた場所ですから感染のリスクも減るし、青空のもとで本と触れ合うのはとても気持ちの良いものです。ぜひ、市内の至るところで毎月開催されるような流れに持って行ってもらいたいものです。図書館の近くに限らずとも、学校の校庭、空き校舎、河川敷、市民センターの駐車場など、地域住民の集まりやすい場所で小規模に開催してもよいのではないかと思います。</p> <p>⑥「新しい生活様式」に沿った身近な読書環境の整備：カードへの記録方法をどうするかがネックになると思いますが、郵便局で返却が可能なら貸出も可能になるとよいと常々考えています。もう一つ、オンラインで本の予約や相談を受け付けられるように、Web窓口を設けてはいかがでしょうか。常時接続しているパソコンを置いておき、オペレーターが対応するというスタイルです。電話だとレファレンスが難しい時があると思いますが、顔が見えているオンラインであればスムーズなのではないでしょうか。殺到すると困るので、事前予約制でもよいかもしれません。</p> <p>⑦非来館型サービスの拡充：電子書籍とWebサービスの拡充は避けられないでしょうが、ここにばかり注力すると、デジタルに疎い方たち、特に高齢の方たちを取りこぼしかねないと思います。⑥、⑧とも絡んでいきますが、出向かずとも借りられる方法として、高齢者であれば、介護事業者と連携して、ケアワーカーに御用聞きがてら本の注文を取り付けてもらい、後日、事務所に本を届けるという方法はどうかでしょうか。</p> <p>⑧障害者・高齢者サービスの拡充：いずれも必要な対策に重点が置かれていると思います。</p> <p>○最後に：これからコロナワクチンの接種が始まります。とはいえ、すぐには行き渡らないでしょうから、コロナ禍に対応した施策は長期にわたって継続的に進めていく必要があるでしょう。ただ、いつかは図書館に来館して本を借りるという従来型のスタイルが主流になる日が来ます。そのときに単にコロナ以前のスタイルに戻るのではなく、コロナで培った経験を活かしながらの充実した図書館サービスが提供できるように努力していただければ幸いです。</p>	<p>さまざまな部署・組織との連携につきご意見、ご提案いただきありがとうございます。また、新たな取組に関する評価をいただき、励みになります。</p> <p>「⑥身近な読書環境の整備」でご提案のサービスについては、多くの方が望んでおられるものと認識しています。ニーズをとらえ、方法を検討してまいります。状況を見据えながら、「読書のまち八王子」の推進に向け計画を進めてまいります。</p>
3	<p>重点政策の非来館型サービスの拡充として、電子書籍・WEBサービスの拡充を挙げているが、電子情報の充実にも力を入れてほしい。これは非来館型だけでなく来館型サービスの拡充にも資する施策となる。</p> <p>特に八王子図書館にしかない近代の市関連の資料は貴重な財産である。これを電子情報化し、蓄積していくことで八王子ならではの市史情報システムが整備されれば、市民だけではなく市外からの来館者増も見込める。</p> <p>図書館から情報館へと変貌しゆく時代にあって、市外来館者・アクセス者への八王子情報の公開サービス施策を立案、実施することは、めざすべき市民の図書館利用率の向上にも相乗効果をもたらすと思う。</p>	<p>電子情報の充実については、ニーズを見据えながら、また、関連所管との連携を図りながら検討を進めてまいります。</p>

報告案件 第4次読書のまち八王子推進計画に基づく令和2～4年度図書館部事業実施計画について

	ご意見など	回答
4	<p>コロナ禍の中、市民のニーズに応えた第4次読書のまち八王子推進計画に基づく令和3・4年度図書館部事業計画ですが作成している図書部よりも市民の方にもう少し関心を持って欲しいと思いました。</p>	<p>市民の方に関心を持ってもらえるような周知方法についてより一層の検討を重ねてまいります。</p>
5	<p>まず、このなかなか先の見通せないコロナ禍を踏まえ、数年後の活動を見通し、丁寧な現状分析と市民の意見等を反映しながら立案していることに敬意と、市民として安心感すら覚えました。 特に新規事業の「ぶっくぱっく」は、コロナ禍にありながら、むしろ新たな視点を得て、今後さらに成長する可能性のある事業となっているようです。是非、一層の工夫とご尽力をお願いしたいと思っています。 そして、学校連携の小中学生POPコンテストを「アクティブ・ラーニング」の機会提供として新規事業に加えている点が、素晴らしいと感じました。ただし、我が国の教育全体の取り組みとしてアクティブ・ラーニングが取り上げられるようになってきた経緯を考えると、コミュニケーションを通じるなどして知識を活用する機会を増やし、思考力や判断力の一層の深化発展を期すという点にあるので、コミュニケーションを活用する場面の工夫が、今後望まれると思いました。 さらに、今申し上げた点とも係わりますが、オンラインを活用した読書会、また、メールを活用した読書会などを図書館が主催することによって、コロナ禍を契機にした読書会の新たな取り組み方などを模索してはいかがでしょうか。こうした市立図書館の取り組みは、大人同士の読書会にとどまらず、子どもたちも含めた異年齢集団による読書体験の機会ともなり得ます。青少年にとってはまさに、アクティブ・ラーニングの絶好の機会ともなり、思考力・判断力・表現力の向上に寄与することにもなり得ると思います。ご一考くだされば幸いです。</p>	<p>いただいたご意見を参考にしながら、新しい生活様式に合わせた事業実施を進めてまいります。</p>
6	<p>P3 > (3) ア 図書館部の事業なので、【児童・生徒には、POPを辻田「本のPR」という実体験を得る「アクティブラーニング」の機会を提供する】というのをおかしいと感じます。学校教育にかかわることなので、学校教育部と調整がついているのかどうか確認が必要ではないでしょうか。むしろ、「読書のまち八王子読書感想文・画コンクールに代わるものとして」のほうがわかりやすい。 また、乳幼児の読書活動支援にあるように、小中学校へも「出張型利用者登録の実施」を行ってほしい。学校でタブレットを使うようになるので、そのタブレットを使って電子図書での読書が可能になるはず。</p>	<p>「本のPOPコンクール」については学校教育部との連携を図りながら進めていく予定です。また、児童生徒を対象とした利用者登録の仕組みについても、学校教育部と検討を進めてまいります。</p>
7	<p>・年々使いやすい図書館になっていると思います。文化に触れることは人権の一部でありますから、はからずも弱い立場に置かれてしまった方にこそ、益々寄り添う市の図書館であって欲しいと思います。 ・読書の楽しみの1つでもある感想の共有の形は探れないでしょうか。掲示板的な物でも、作品を検索すると前向きな感想が検索出来るなど。 ・出張型について。先日プレーパークを開催しておはなし会も実施しました。(いずれも無料)乳幼児親子だけでなく、男子の集団も走り回る中ふと足を止めて聞き入っていたり、登った木の上から聞いていたり、図書館のおはなし会とはまた違った聞き手に出会えました。会場は子どもキャンプ場なのでとても広く、一角がパークライブラリーになったら素敵です。プレーパークとのコラボもご検討頂けたら幸いです。</p>	<p>本を検索すると、民間の感想共有サイトへのリンクを開くことができる仕組みを令和2年12月より図書館システムに組み込んでいます。新しい読書体験への誘いの一つとして活用いただけると幸いです。様々な連携については、今後も継続して検討してまいります。</p>

報告案件 第4次読書のまち八王子推進計画に基づく令和2～4年度図書館部事業実施計画について

	ご意見など	回答
8	<p>コロナ禍における社会環境の変化を捉えて、感染防止対策を講じながら図書館サービスのあり方を再考し、事業実施計画に速やかに反映させている点は、非常に高く評価される行政の動きであると捉えました。市民の生活環境の急速な変化を捉えた新規事業が前向きに構想されています。</p> <p>学校との連携においては、GIGAスクール構想の実現にともない、学校現場では子どもたちが一人一台のタブレット端末を使用するようになります。これに対して、市の図書館がどのような関わりをみせるのかが問われてきます。一人一台のタブレット端末を活用し、公共図書館と学校のオンラインによる連携を模索するなど、新たな形での事業を展開することにも期待したいです。</p> <p>また、屋外という空間に着目したパークライブラリー事業についても、先駆的な取り組みとして高く評価される場所であり、他の自治体等からの注目も大きいと思われます。図書を仕掛けにしながら、市民がゆったりとした時間を楽しめるよう、新たな工夫を凝らしながら実施することをまず期待します。それとともに、この事業で得られた知見を、従前の図書館の空間づくりの工夫にも活かしていただくような往還が生まれると良いと考えました。</p> <p>そのほか、具体的な事業としては明記されていませんが、感染症やその予防策に対する科学的な知識と技能を市民が学ぶうえで、図書館の果たすべき重要な役割があると考えます。外出自粛によって、どうしてもテレビやインターネットの情報に限定されがちな状況において、感染症やその予防策に関する図書の選書や企画を図書館が進めることにより、市民が科学的な情報と向き合うきっかけを創出する取り組みも望みます。</p> <p>最後に、指標における現状値の見直しについて、賛同します。コロナ禍の状況を踏まえて、事業の到達目標等を見直すことは、あらためて事業の目的を捉えて、それに基づく目標を設定することでもあり、事業や施策の意義や課題を点検するうえでむしろ重要なプロセスになると考えます。また、新型コロナウイルスの感染状況は刻々と変化しているため、年度単位ではなく、月別程度の単位で細かく現状値を集計し、コロナ感染の状況を踏まえながら各事業の実績を分析する等、コロナ禍に向き合いながらそれぞれの事業を実質的に評価していくことが重要になると考えます。</p>	<p>新たな取組に関する評価をいただき、励みになります。いただいたご意見を参考にしながら、新しい生活様式に合わせた事業実施を進めてまいります。</p>
9	<p>コロナ禍にあって読書傾向の動向と変化を探るべく「緊急アンケート」を実施されたことはタイムリーで変化の動向を探る貴重なデータを得られたと思います。</p> <p>内容は分析されているように、図書館来館型利用の低減と非来館型・出張サービスの増加がみられる。この傾向は昨年度だけではなく、ここ暫くあるいは今後この傾向が定着していくとも考えられ、「新しい生活様式」に対応した読書サービスの提供をきめ細かく実施していくことが求められます。</p> <p>在宅勤務の働き盛りの人たちにも、今後図書館サービスを必要とされるかもしれない。そしてその世代が電子書籍、webサービス を利用していくが考えられます。</p> <p>新たな顧客が生まれつつあるかもしれません。迅速にサービス対応をして頂くことをお願いしたい。</p> <p>アンケート調査において、一般と図書館利用登録者とは利用の度合いが異なるが、今後どのようなサービスをのぞむかについては「自動貸出返却機」、「webサービスの充実」、「本の宅配サービス」が同じように求められています。</p> <p>コロナ禍にあって、読書が求められている。図書館としてどのような形態でサービスを届ければよいかを考えて頂ければありがたい。</p>	<p>ご意見いただきましたように、新しい生活様式に合わせた図書館サービスが求められていることを実感しております。市民の読書環境の整備に向けた計画実施を進めてまいります。</p>
10	<p>コロナ禍で大変ですが、市民が気軽に「新しい生活様式」に沿って読書ができる取組がある「図書館部事業実施計画」を早急に進めてほしい。</p>	<p>ご意見いただきましたように、より一層の検討・工夫を重ねてまいります。</p>

報告案件 第4次読書のまち八王子推進計画に基づく令和2～4年度図書館部事業実施計画について

	ご意見など	回答
11	<p>図書館に求められるサービスとして、「予約した本が届くのに時間がかかる」とあるが、最大何日くらい予約した本を待っているのでしょうか。そして、その本はどんな本なのでしょうか。また、本を待っている人は、何人いるのでしょうか。図書館として、その内容をどの程度把握しているのでしょうか。その解決に向けて何かしていますか？ 統計を出してみてもいいのでは。</p> <p>資料（16ページ）を見ると電子書籍サービスの認知度と利用数が低い。とてもいいサービスなのにもったいないと思います。学校に、1人1台の端末が配備されたので、その端末を利用して見ることができるといいと思います。そこで、使い方を覚えると、電子書籍サービスの利用者を育てることにつながるのでは。また、学校図書館の蔵書には限界があるので、学校も助かるのでは。</p>	<p>・予約本の提供については、特に多数の方（数百人）から予約を受けている人気の本では半年以上のお時間をいただくこともあります。毎月予約が多数入っている本については館内・HPに掲示を行っています。提供までの時間を短くするために複本を多数購入しても人気が一過性であった場合には、将来的に死蔵する本を多数抱えることになりかねません。適切な購入数については常時検討を重ねておりますが、より様々な視点での検討を工夫してまいります。</p> <p>・電子書籍サービスについては、ご意見いただきましたように、周知の方法につきより一層の検討・工夫を重ねてまいります。また、学校教育部との連携についても検討してまいります。</p>